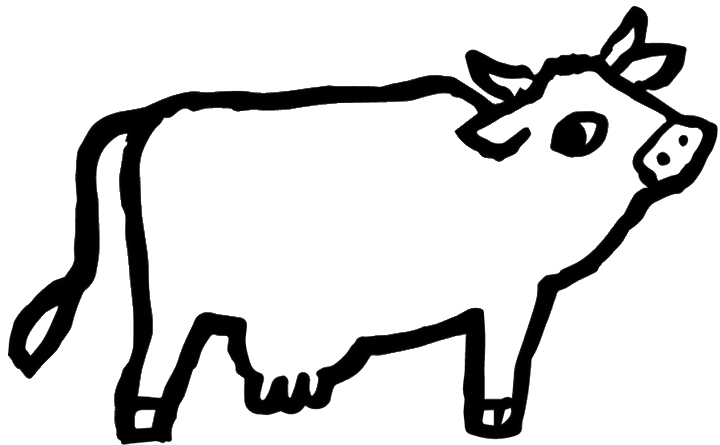


実証報告①

なみきのね



目次

01

なみきのね概要

02

はじまるきっかけ

03

プロセス

04

地域福祉コーディネーターとの関わり

05

地域のこれから

「なみき牧場」を運営する団体「なみきのね」



・ 場所は国分寺市並木町 五日市街道沿い
一年以上空いていた家を
家主が「地域で使いたい」と友人に相談する



近所の人で集まって考えてみる



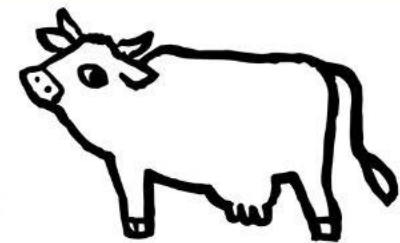
冒険遊び場の会も運営に加わる



地域で使える場所にするため2024年9月に
運営団体「なみきのね」設立

01

なみきのね概要



なみき牧場

1月19日オープン

オープニングイベントには近所の人約300人が集まりました

冒険遊び場主催

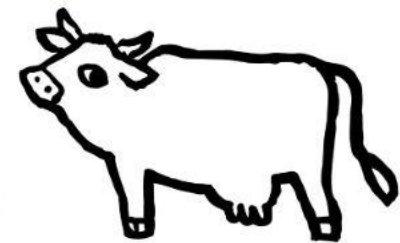
火・金曜には「BOUKENたんま」を開催
ケーキやごはんを食べています

通常は平日10時～17時に開いています



01

なみきのね概要



なみき牧場の中

みんなのへや

ふらりと来てすごせる場所



レンタルスペース

やってみたいを育てる場所

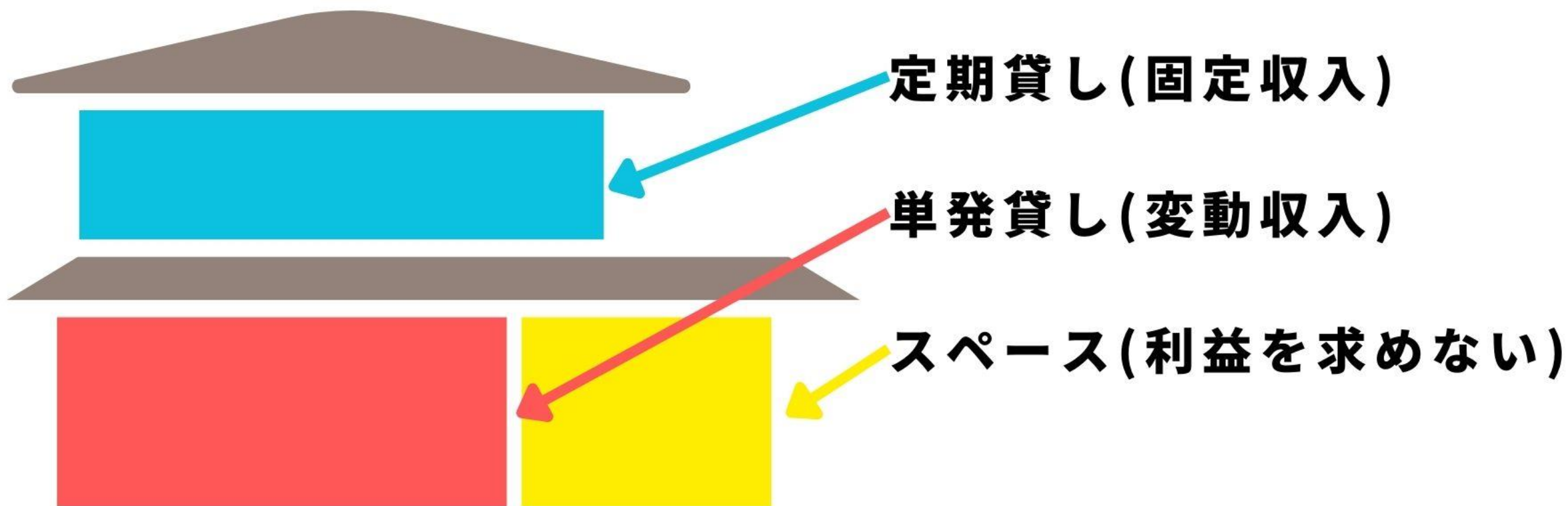


オフィススペース



共用キッチン・ダイニングなど

続く仕掛けをつくる



個人的な思い、でもきっとみんなの思い

不安に気づきあえる 「お互い様」な関係を増やしたい

突然の体調不良
生活の人手不足
不審者情報
子育て、介護
経済的困窮
生活の孤立化

進学、受験、就職
友人関係、上下関係
遊び場、溜まり場がない
身体の変化、気持ちの変化

大人の不安も、子どもの不安も、

暮らしを開くこと 家を開くこと

「うち」の暮らしから、「まち」の暮らしになるように
「うち」の子育て・介護から、「このまち」の生活になるように

ネガティブに過ごせる場所を開く

ラッキー

様々なタイミングが重なり、できたこと

- 近所に大きな家があること
- 使っていい、使いたいと家主さんが思ったこと
- 周りに相談したこと
- みんなが集まって考えたこと
- 経済的な問題をクリアできたこと
- 利用者がいたこと

生活しながら両手で作るのは無理
片手間の地域づくりを
支えてくれるのが
地域福祉コーディネーター

コーディネートを中心に考えながら街を歩き回る人
→ 具体的なつながり、キッカケの種をたくさん摘んで、撒く人

空き家も増、新築も増、 様々な人が集まるまちで暮らし 近所を育てて近所と育つ

ひとりではできないことを、始められるか、続けていけるか、
そのために、どれだけ色々な人を巻き込めるか
色々な人って、どんな人なのか、想像力を身につけるために
経験と知識を共有する場へ

空き家をまちのスペースに